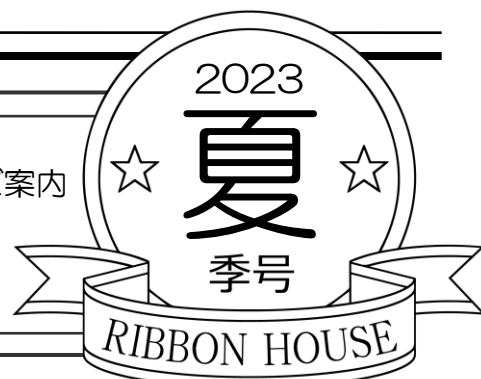


ぱすてるRIBBON

～今号のぱすてるリボン～

- 春期特別講習 2023 のご挨拶 ○夏期特別講習 2023 のご案内
- 夏号の「のぞいてみよう！」 ○ティーチャーズ
- 講師の紹介 ○まんが入門コース講座作品
- 生徒さんの作品 ほか



「札幌市円山動物園写生会 2023」

(5月20日(土)開催)



ご参加いただきまして心よりお礼申し上げます。

代表 岩田 美香・講師一同

春期特別講習 2023

ご参加ありがとうございました

2023年3月24日(金)～2023年4月5日(水)までの期間、大通教室にて春期特別講習を行いました。今回もたくさんのご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。

Aコース「2、3才児60分・年少組90分・園児150分・小学生自由研究150分コース」

(講師：伊藤 真澄)

今期の春期講習では、部屋のドアに掛けるルームプレート作りや北欧のモビール、ヒンメリ作りなどがありました。ルームプレートはまず頭の中のアイデアを描いてもらいました。どんな文字でどんな素材を使うのかなどの詳細も考えてもらってから制作に入りました。ヒンメリでは、紙ストローを着色してから必要な長さにカットし針金の針と糸を使いストローが平面から立体になっていく難しい手順を学んでいただきました。どちらも頭と手先を使い苦戦した場面もありましたが、完成した時の嬉しそうな姿が見られてよかったです。また夏期講習もお待ちしております。

Bコース「園児・小学生クラス 絵画の基本特別コース」

(講師：佐藤 香織)

特別講習Bコースでは基本的な水彩の技法を学んで頂いたり(すこうのきほん)、グラデーションを使った平面構成を行ってもらったり(デザインの基本)、この他にもデッサンや透明水彩の基本コースなどをご用意しております。今回は春期ということで4月から小学生になる生徒さんのご受講が多くありました。小学校で始まる図工の予習にぴったりのBコースです。授業が始まったらここでのレッスンで学んだことを是非活かして頂けたらと思います。

まんが入門コース

(講師：笹木 香里)

春期講習では、たくさんご受講下さりありがとうございました。初受講の方もリピーターの方も皆さん素晴らしい漫画やイラスト作品を描き上げて下さいました。2ページ見開きのストーリー形式の漫画に挑戦された方はコマ展開やセリフまわしなどに頭を悩ませていましたが、アイデアにたっぷり時間をかけた分完成した原稿は大変充実したものになりました。何回も受講して下さいている方の悩みのレベルの高さに驚くとともに伸び代に嬉しくなります。初めて4コマ漫画を制作された方にとりましても、難しかったことや限られた時間での制作で心残りのあることと思われるかもしれませんが、ぜひともそれをバネにして次回作を楽しみにしています。完成した生徒さんの作品をぜひ、ばすてるRIBONで楽しんで下さいね。

Cコース「中学美術科授業対策コース」 Dコース「芸術コース」

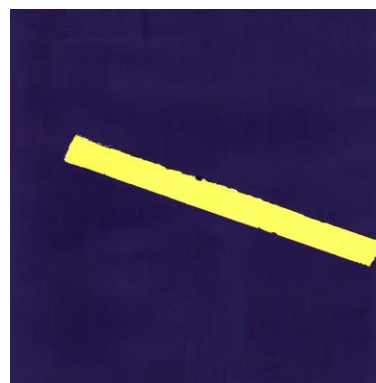
(講師：岩田 美香)

Cコースには小学5年生から中学3年生が、Dコースには高校1年生から大人の生徒さんをご参加下さり、油彩画、水彩画、デッサン、デザイン、アキーラ制作、水墨画等目的に合わせて様々な制作に取り組んで下さりました。新年度を迎える時期でしたので、新たな分野にチャレンジした受講生が多かったです。特に、「人物クロッキー」では、鉛筆デッサンだけでなく、透明水彩絵の具での人物画を制作した受講生がとて多かったです。人物の水墨画にチャレンジしたDコースの生徒さんもあり、新年度を迎えて多種多彩なレッスンとなりました。夏期講習2023でもたくさんのご参加をお待ちしております。

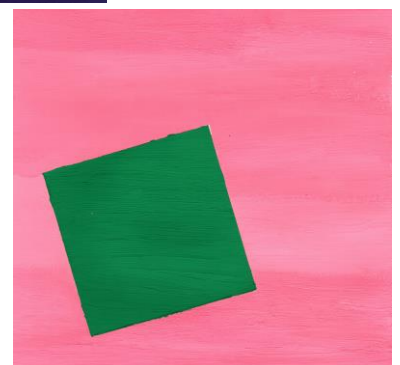
Sコース「受験・特別コース」

(講師：岩田 美香)

受験シーズンが終了したばかりでしたので、それぞれのスキルアップを中心に制作をしていただきました。高校1年生から大学1年生の受講生が油彩画や水彩画、デッサン、デザイン等、目的に合わせて基礎から学びました。CDコースと合同で行った「人物クロッキー」では、水彩画の完成度が高く、他の受講生らのお手本とさせていただきます。夏期講習2023では、更に個性と創造性を磨いて、志望校に合格出来る力を身に付けていただきたいと思います。たくさんのご参加をお待ちしております。



◀春期講習Cコース
デザイン 中1女子
「棒になった月」



▶春期講習Cコース
デザイン 中1女子
「緑が1人」

夏期特別講習 2023

今回も充実した内容をたくさんご用意しております。講習期間中もお申し込みいただけます。たくさんのご参加お待ちしております。詳しくは各コースのご案内のプリント、またはHPをご覧ください。

受講会場 リボンハウス絵画教室 大通教室（住所：札幌市中央区大通西6丁目6-9クリーンビル3F）

期間 2023年7月22日（土）～8月20日（日）予定（日程が変更になる場合があります）

- Aコース「2歳、3歳児 60分・年少組 90分・園児 150分コース・小学生自由研究 150分コース」
- Bコース「園児・小学生クラス 絵画の基本特別コース」
 - ☆ずこうのきほん（年少組 90分～小学4年生）
 - ☆デッサンの基本・透明水彩の基本・デザインの基本（小学3年生～小学6年生）
 - ☆美術ステップアップコース（上記のコースを全て受講終了した小学生）
- Cコース「中学美術科授業対策コース（170分）」（岩田講師クラス）（小学5年生～中学3年生対象）
- Dコース「芸術コース（180分）」（岩田講師クラス）（高校生～大人の方対象）
- Sコース「受験・特別コース」（岩田講師クラス）（7月22日（日）から8月9日（水）まで開講）
- まんが入門コース（小学3年生～大人の方対象）
 - ☆ステップ1「4コマまんが入門 90分コース」
 - ☆ステップ2「ストーリーまんが入門 120分コース」（ステップ1を修了された方）
 - ☆ステップ3「まんがスキルアップ 120分コース」（ステップ2を修了された方）
- 点描画の入門コース 120分（小学生 90分）（小学1年生～大人の方対象）
 - ☆点描画お試しコース（2回）（中学生以上対象）
 - ☆入門コース（3～5回）
 - ☆応用コース（3～5回）
 - ☆発展コース（3～5回）（入門→応用→発展の順に進みます。全コースともに小学生は4回以上の受講とさせていただきます）
- 新設「ミニチュアアート入門」コース（小学5年生～大人の方対象）
 - <入門コース>（2～5回）（小学生は各ステップともに4回以上1レッスン90分、中学生以上120分）
 - ☆ステップ1「夏のデザートコース」（2～5回）
 - ☆ステップ2「ランチコース」（4～5回）
 - ☆ステップ3「イタリアンディナーコース」（4～5回）（ステップ3を終了した方は、冬期講習2023<応用コース>に進みます）

申込み受付 夏期特別講習中も受講をお申し込みいただけますが、定員になり次第、締め切らせていただきます。

お申込み先・お問い合わせ

TEL 011-232-6715 FAX 011-232-6715

（※教室が閉室の際はFAXが繋がりません。お手数ですが、開室時に再度FAXを送信してください）

MAIL ribbonhouse_artschool@yahoo.co.jp

時間 スケジュール表をご覧ください。（講習期間中も受講受付しております。お気軽にお申込みくださいませ）



◆幼児・小学生コース (講師：森谷 美友)

現在は、こいのぼり制作や母の日のプレゼント制作を行っています。こいのぼり制作ではみなさんさまざまな表情の作品をつくってくださいました。鱗の作り方を工夫していたり、個性豊かな作品が多く生まれました。母の日のプレゼント制作では日頃の感謝を伝えるためにキーホルダーをつくりました。お母さんの好きなものや色を使って紙粘土やイラストで素敵なプレゼントを作ることができました。他にもミツバチの一枚画コンクールや動物園での写生大会に向けて動物を描く練習などさまざまな制作を行っています。

◆アビターレ・ティサービスレッスン

(講師：岩田 美香)

2014年の5月から毎週木曜日の午後に透明水彩画のレッスンを行っています。季節の花や野菜果物をおよそ45分で仕上げます。1レッスンで完成するためにどのメンバーさんも毎回真剣に取り組んでくださっており、高齢の方対象とは思えないレベルの高いレッスンとなっております。制作後の講評では、しっかりと耳を傾けて、お互いに誉めあったり、励まし合ったりして、その様子に毎回感激しております。皆様の作品をクリスマス展示会2023で発表させていただくのがとても楽しみです。

◆一般コース (講師：岩田 美香)

新年度では、油彩画を始めた生徒さんが多くて、画材の扱い方から学びました。花や野菜果物の静物画を完成した後には30号のキャンバスにチャレンジして更に個性と創造性を磨いていただいております。デッサンの授業では、ピンポン玉を持つ手やデッサン人形、石膏像、レモンの構成、猫等のデッサンをしました。小学生コースから移って来られた小学5、6年生や中学1年生さんも透明水彩絵画の基本を学び、創造性を伸ばしていただいております。大人の生徒さんは、「クリスマス展示会2023」に向けてどんどん制作を進めております。皆さんの作品の完成がとても楽しみです。

◆ダイケアクリニックスレッスン

(講師：岩田 美香)

1999年の8月から金曜日の午後にデッサンやデザイン、イラストレーション、まんが、色鉛筆画、透明水彩画、油彩画の制作を行っています。

それぞれの好みや目的に合わせて、ご自身のペースで取り組んでいただいております。個性と創造性に溢れた作品が毎回完成しております。9月からのサンタクロース制作が始まるまで、どんどん作品を仕上げていただき、「クリスマス展示会2023」で展示参加していただけたらと願っております。

◆受験・特別コース (講師：岩田 美香)

個別指導で行っており、志望校の対策やスキルアップ、様々な分野を学びたい方を対象としたコースです。時間にとらわれずにご都合に合わせてスケジュールを組んで受講していただけます。ご自身の未来のためにじっくりと制作に取り組んで個性と創造性を伸ばしていただけたらと願っております。皆様のご参加をお待ちしております。

◆クラーク高等学院美術デザイン授業

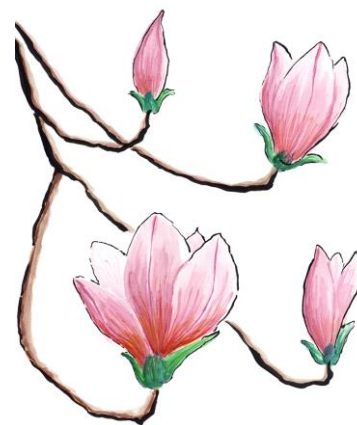
(講師：岩田 美香)

2021年の4月より、美術デザインの授業を受け持っております。1、2、3年生合同授業で毎週水曜日の午後に2コマを担当しており、デッサン、透明水彩画、デザイン等を中心に一年間の授業を進めております。今年度も初回は、お花を描き、母の日のメッセージカードに仕上げました。どの作品も個性豊かで、これからの上達が楽しみです。6月まではデッサンを中心に、その後は水彩画に進みます。前期後期ともに基本から楽しくじっくりと学んでいただけるよう授業作りに努めてまいります。



◀春期講習Dコース
水彩 一般女性
「12色の色相環」

▶春期講習Dコース
水墨 一般女性
「崇高」



◇日傘の感動

(講師：笹木 香里)

数年前まではどんなに暑い日でも帽子を被る程度の対策をしていましたが、ある年に何気なく日傘を買って使ってみたことがあります。日傘といえばオシャレな方がファッションの一部としてさすようなイメージが強くあったので自分には縁遠いものだと思っていました。しかし炎天下の中でいざ日傘をさしてみると、その快適さに驚きました。日光が遮られるとグッと涼しく感じられ、肌を焼くような暑さが嘘のように抑えられたのです。道の真ん中でも木陰のない広場でも、どんな場所でも日陰が出来るのがこんなに快適とは思いませんでした。得意になってしばらくはいつでも日傘を携帯して愛用していましたが、持ち前の物をすぐになくす能力が発揮されて1シーズンに何度もどこかへ置き忘れたり壊れてしまったりが多発したので今年も持とうかどうか悩んでしまいます。

◇ハンディファン

(講師：伊藤 真澄)

私の夏の暑さ対策はハンディファンです。手に持つタイプ、首から掛ける小型タイプ、水を入れてミストが出てクリップが付いたタイプと実は3つ持っています。以前突然汗が噴き出るホットフラッシュというものに悩まされ、マスクの中が水滴だらけ、肌荒れで不快だったので、マスクの中に付ける小型のファンも買って試してみたのですが、威力が弱くて全然使用していません。最初にハンディファンの存在を知ったのは、夏の韓国でのことです。「なんて便利なものを使っているのだろう」と。その頃の韓国は急発展のさ中、オシャレなカフェがどんどん増えて、ハンディファン使用も日本より2年は早かったのではと思います。それで私もいち早く購入、ある真冬の友人とのチカホ待ち合わせに使っていたら、この時期にそんなの使ってるのは私しかいないと笑われました。今では札幌でも夏に使用している人をよく見かけるようになりましたね。

◇水涼し

(講師：森谷 美友)

札幌はどこの建物内も涼しく快適に過ごすことができますよね。しかし視覚的に涼しくなりたい時は水のある場所に行きたくなります。本当に暑い日に歩いていると豊平川や大通公園の噴水に助けられて一瞬清々しい気持ちになります。昨年は初めて様似町という場所に行きました。滝や広い海が広がる自然豊かな場所で夜になると美しい星空を見ることができます。美しい景色を見ていると暑さも忘れることができるので今年の夏も自分は北海道の自然と共に夏を過ごしたいです。最近では車の免許を取得したので行動範囲が広がり、行きたい場所が増えました。自分の運転で京極町や青い池など涼みに行ってみたいと計画中です。

◇紫外線対策

(講師：佐藤 香織)

以前は対策なんてこと考えもしないくらいの丁度いい暑さですんでいたのに、今は夏になると暑さ対策のグッズが豊富に販売されるくらい昔より夏が暑くなってしまいました。私もグッズの幾つかにはいつの頃からかお世話になっています。強い紫外線をあびると具合が悪くなったり目がひどく充血したりすることもあるので、UVカットつきの日傘と、同じくUVカットつきの度が入っていないメガネを持っています。熱中症もちょっとした無理の積み重ねでいつの間にか発症してしまうので怖いですが、紫外線も積みもり積もると膠原病発症の引き金になってしまいます。夏の外出の際は水分補給と紫外線のことを意識しています。

◇冷感アイテム

(講師：山内 裕美子)

最近北海道でも夏はとて暑くなりましたね。北海道の方が本州に比べて冷房などの設備が整っていないので、北海道の方が室内にいても暑いのではないかと思います…。実際に私が通っている大学もほとんどの教室に冷房が入っておらず、国公立の小・中・高校では冷房が完備されていない場合がほとんどだと思います。私が通っていた高校も夏に教室の温度計が35度を指していました…。特に一昨年はとて暑かったので、それを機に冷感アイテムを活用するようになりました！まず、首から下げるタイプの扇風機です。手持ちタイプの小さな扇風機はよく見かけるとは思いますが、首から下げるタイプのものは両手が空くのでとて便利です。一見ヘッドフォンのような見た目、風の出るところが二つついています。もう一つは冷感タオルです。タオルというよりストールのように肩にかけられるもので、濡らして振ると冷たくなります。この2つを毎日使って今年の夏も乗り切りたいです…！！

◇水分補給

(講師：佐藤 ありさ)

夏！天気がいいとそれだけで気分もよくなりますし、外でたくさん遊びたくなる季節ですね。小さい頃は虫捕りによく森や山へ行っていて、高校では登山部(という名のアウトドア部)に所属していたので、その延長で今もアウトドア的な活動はとて好きです。しかし、汗っかきでもあるので水分補給は人一倍気にするようにしています。出歩くときは大体保冷剤を持ち歩いています。アイスを食べるのもオススメの暑さ対策です。おなかを壊さないようにさえ気を付ければ、ちょっと出費がかさんでも倒れて病院に行くよりは十分お得です。あとは、夏の水羊羹は食べるだけで畳のにおいや日陰の涼しさ、風鈴の音まで聞こえてくるような情緒感があって大好きなので、ぜひ和菓子が好きな方は冷やした水羊羹で日本の涼しさを楽しんでみてください。

◇涼を感じる

(講師：南 風羽)

私が道東の田舎から札幌に引っ越してきて3年経とうとしていますが、夏の暑さには毎年驚きます。私が一人暮らしをしているマンションは比較的夏でも涼しいのですが、それでも暑い時には冷たい床に直接仰向けになって窓からの風を感じたりします。また、アイスコーヒーが好きなのでそれを飲みながら、氷の音を聴くと更に五感から涼しくなれます。ですから、暑さから逃れる為には、五感から涼しくなる事も一つの手ですね！今年の夏も熱中症や日焼けに気を付けて、水分をよく摂りよく食べて夏の暑さを乗り越えましょう。

ティーチャーズ Teachers

～各自のテーマ～

◇いつでもどこでも誰でも (講師：笹木 香里)

雪の溶け切らない頃に、役者をしている知人が二人芝居をすると聞き観劇しに釧路へ行きました。会場は劇場ではなくカフェの店内。特別な音響設備や照明もなく、客席・ステージという区切りもなくフラットな空間で行われました。お芝居の内容はといえば、大掛かりな舞台装置や演出などないシンプルな掛け合いの短い劇でしたがとても楽しめました。役者が居て空間があればお芝居は出来るということを教えられたようでした。同時に絵を書くことも同じで描く人と描く道具さえあれば特別な装置など無くてもいつでも誰でも始められる楽しいことなんだろうなと思う機会となりました。

◇パンのはなし

(講師：佐藤 香織)

最近生徒さんと朝ごはんは米派かパン派かという話をしました。私はパン派です。別にお米でもいいですけどほぼほぼ朝はトーストを焼いています。食パンにハムとチーズを乗せて焼いたり、ただ焼いてバターを塗って食べたりですが、稀にチョコレートを乗せてチョコトーストにします。普通の板チョコでもホロホロして美味しいですが、オススメはロイズの板チョコ。一般的な板チョコと明らかに違いドロドロになります。なので、多く乗せるとパンからこぼれるので注意が必要です。普通の板チョコでは無理だけど、ロイズの溶けたドロドロの板チョコだとバターナイフで広げられます。北海道に住んでてよかった～。あとはマヨネーズをパンに塗る+納豆+チーズ+のり。バターを塗る+しらす+醤油をつけたのりも美味しいし、これらに刻んだタマネギを乗せて焼いても美味しいしシーチキンで代用しても美味しい…。他にもこんなのあるよ～っていうのがあったら教えてください。

◇涼しげな色彩で、夏を楽しむ。

(講師：岩田 美香)

近年温暖化が進み、冬が終わったとたんに急に暑くなったり、真夏日や熱帯夜が続いたり札幌も本州の様な気候になりつつあります。

私は、長年続くホットフラッシュのおかげで何かする度に頭からベッシュリと汗をかく体質なので、暑さは天敵です。でも夏は汗をかいても不自然に見えないので、心穏やかに過ごせる季節でもあります。

猛暑が続いても札幌の夏はあっという間に終わってしまうので、暑さを楽しみながら過ごします。インテリアや食器をブルー系やクリスタルにして涼やかさを演出したり、洋服も寒色系にして見た目を涼やかにします。猛暑続きの一昨年の夏に髪の毛を男の子のようにバッサリと切って、体も心もスッキリしました。首もとの冷感対策やUV加工の日傘もバッチリ！後はエンゼルスの大谷翔平選手の活躍をテレビで観ながらビールを飲めば、暑さも吹っ飛んで翌日への活力になります。

暑さ対策で気をつけているのは、冷たい飲み物や食べ物の取りすぎです。私は、暑い日でもコーヒーはホット、お茶は室温、朝食にはカップスープをかかしません。

7月22日(土)からリボンハウス絵画教室で夏期講習2023各コースが始まります。集中して制作をしていただけるよう努めてまいりますので、是非夏休みにお気に入りの作品をリボンハウスで完成して、アートな夏をお過ごしください。

◇ビーチコーミング

(講師：伊藤 真澄)

私は生まれ育ちが海町のせいか、少し暖かくなってくると海に行きたくてウズウズしてきます。それは「ビーチコーミング」と言って、海岸の漂流物を収集したり観察するのが趣味だからです。子供の頃、お祭りで母に何か欲しいか聞かれた時、綿あめでもりんご飴でもなく、私は必ず「貝」と答えていたそうで、その頃から貝の色、形に魅了されていて、当時の物は今も大切にしています。夏休みの自由研究では、色々な海藻を拾って押し花のように乾燥させて、標本を作った分厚いA3の紙からはみ出たものを持って行きびっくりされました。今は貝殻、ビーチグラス、めのうを収集。思い出深いのは、江ノ島の桜貝、逗子の宝貝、三浦半島の1mmの貝、沖縄のイモガイ、ホネガイ、望来浜のめのう、ビーチグラスです。拾ってきては殺菌、乾燥させ拾った日と場所を付けた瓶やケースに入れています。ちょっとオタク気質です(笑) 今年は久しぶりに南方に遠出しようかなと思っています。貝の話となると止まらないので、このへんにしておきます。

◆私と美術の出会い

(講師：森谷 美友)

教室で働いていると小学生のころの自分を思い出します。現在は油彩画を中心に制作していますが、小学生の頃は漫画家になりたかったので可愛い女の子のイラストやちょっとした漫画を夢中になって描いていました。今は全くと言っていいほどイラストは描かないのですが、美術の道を志すきっかけをくれたのはその時の自分の経験からです。その時の楽しい気持ちを大事にして制作していきたいと生徒のみなさんが楽しそうに制作している姿を見る度に思います。作品を制作するときはコツコツと積み重ねて上手くいかなかったり、どうすればいいのかわかなくなってしまう時たくさんあります。しかし大切なのは自分が楽しいのか？描きたいものをつくりたいものを素直に表現しようというシンプルな気持ちだと改めて気付かされました。また、最近はデジタルで描く人がとても多いですね。またイラストの練習を今度はデジタルでしてみようと思います。

◆異年齢の友達

(講師：山内 裕美子)

私は最近、美術について勉強し直そうと思い、美術の予備校に通っています。そこでは、主に美大に行きたい高校生が美術を習っているの、周りは高校生だらけです。通い始める前は今になって高校生の友達ができるとは思っていませんでしたが、5歳下の子たちとすぐに仲良くなり、普通に友達になることができました。私は中学、高校とハードな運動部に所属しており先輩後輩の上下関係がある環境にいたので、年下の子と話す時は年上になってしまうようなところがありましたが、5歳も下になるとそのようなこともなく友達になって楽しく話すようになりました。こういう世界も新鮮で面白いな、楽しいなと思います。また、美術の予備校に來ている高校生は、自分のやりたいことをやらせてもらっているの、とても楽しそうで目をキラキラさせています。素直なので楽に話せますし、好きなことが同じなので話が弾みます。これをきっかけに今度は社会人コースの方とも友達になりたいなと思っています。

◆「美術」について

(講師：佐藤 ありさ)

美術ときくと、多くの場合学校の科目やARTの意味で捉えることが多いと思いますが、映画やアニメーションといった映像作品において、「美術」は美術設定や背景、つまり作品の世界観を決める重要な役割を指しています。作品のエンドロールで、監督とは別に美術監督という役職を見たことがある方もいらっしゃると思いますが、それほど映像作品において美術は大切な役割を担っています。私はこの背景美術が大好きで、特に80年代後半から'00年代初頭のセルアニメ時代の背景画を描いていた方々のことを考えると憧れと尊敬で常に背筋が伸びる思いがします。実際の作品には数秒程度しか使われない背景に凄まじい熱量が込められているところがロマンです。皆さんも映像作品を見る際にストーリーやキャラクター以外にも、背景美術に注目してみると、普段とは違ったまた楽しみ方ができるかもしれません。

◆私の好きな画家について

(講師：南 風羽)

皆さんに何か文章でお伝えする様な機会は中々無い為、何を話そうかと考えましたが、私の好きな画家を知って欲しいなと思いこの題材にしました。皆さん、「鴨居玲」という画家はご存知でしょうか？出身地などは曖昧ですが、金沢工芸美術大学出身でオランダなど海外を転々としながら作品を制作している方でした。私は彼の絵には物語を感じます。描かれている物だけで終わらない、完結することの無い人間の心情が表されていて、実際に鑑賞したことは何度かありますが、息を呑む程の強さや良い不気味さや格好の良さがひしひしと伝わります。是非、調べてみて下さい！

☆ 新しい講師の紹介 ☆

佐藤 ありさ (さとう ありさ)

はじめまして、今年の二月から入りました佐藤ありさと申します。札幌市立大学デザイン学部で建築を学んでいます。高校は美術系のところで、絵画を専攻していました。子供のころから粘土でなにかを作ったり、絵を描いたりすることが好きだったので、生徒さん方にもさまざまな方法で自分の好きなことや感じたことなどを表現できるための一助となれるよう頑張ります！よろしくお願いいたします。

南 風羽 (みなみ ふう)

初めまして！3月からアシスタントをさせて頂いております。札幌大谷大学の4年造形表現領域油彩専攻の南 風羽 (みなみ ふう) です。大学では、教職課程を履修している事もあり、アシスタントをさせて頂きながら生徒さんから沢山学ばせてもらっていて、とても楽しいです♪私は、幼い頃絵を描いたり、漫画を読むのが好きで私もこの作者の様に自分の表現で沢山の人間に影響を与えたい！という気持ちで美術系の進路を決めました。今は絵画などの絵を描く事に留まらず音楽など沢山の媒体を通して自己表現が出来たらと思っています。その様な、広い視野を生徒さんにも持ってもらえる様な指導を心掛けていきたいと思っていますので、これからよろしくお願いいたします！

しみさがし 作 ジェシカ



▲PN: ジェシカ 小3「しゅみがし」

カーテンがぶった。作 佐藤 媛

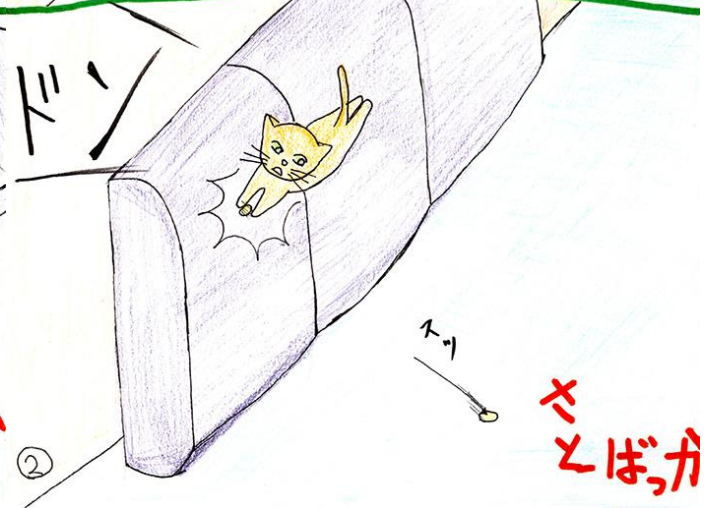
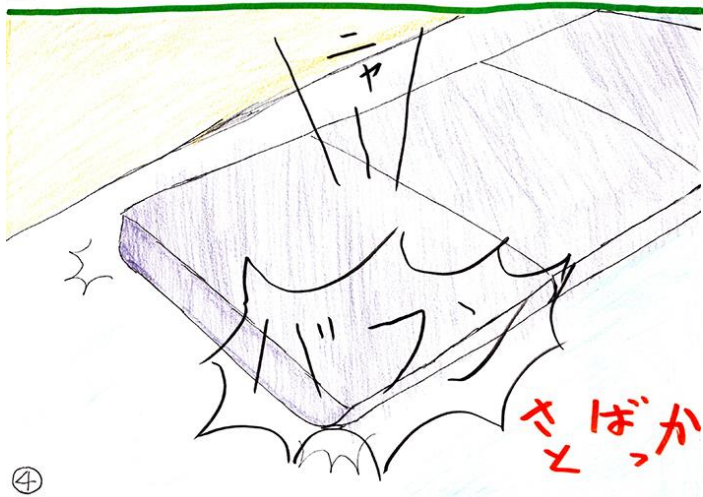
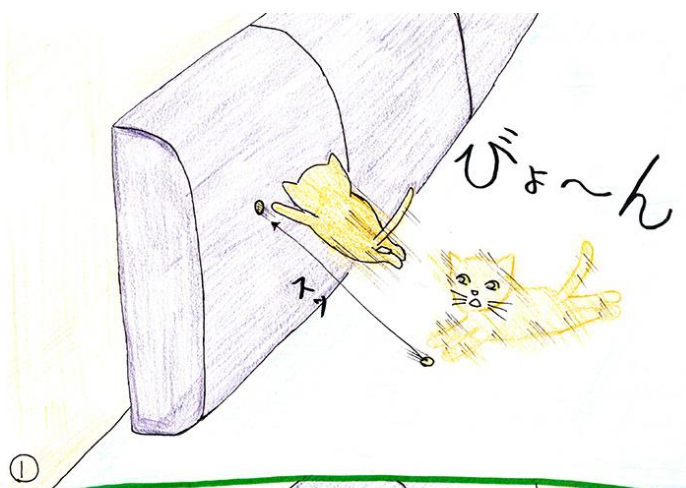
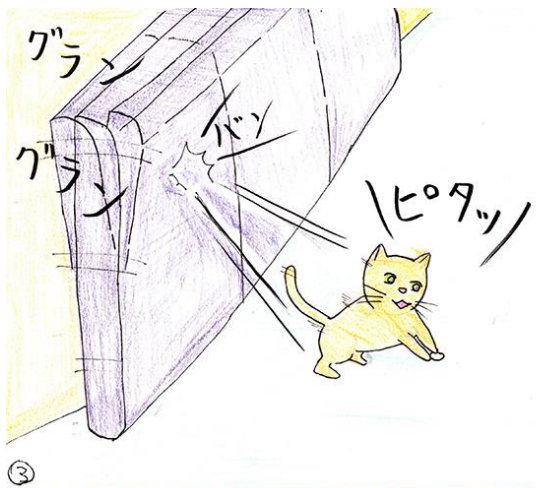


▲佐藤 媛 小3「カーテンがぶった。」



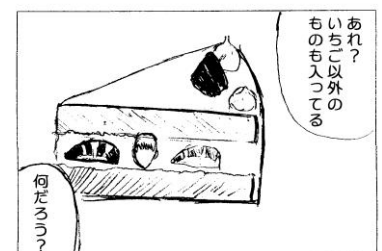
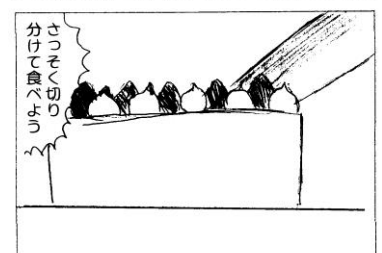
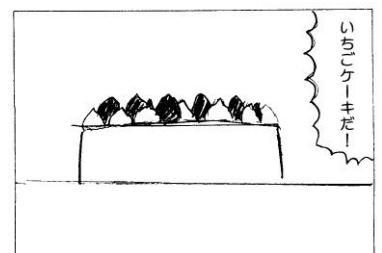
▲PN: じゅー「来年は2人で」





▲PN: さとばっか「コントかよ！」

▶クラーク高等学院 2年
PN: 紫式部「スイーツ系男子」



◀PN: ゆいちご
中1「春のおでかけ」



春期特別講習 2023 生徒さんの作品



▲春期講習 B コースすこうのきほん
3さい女児「じぶんのかお」



▲春期講習 B コースデザインの基本
小4男子「リンゴの平面構成」



▲春期講習 S コース水彩
大1女子「飾らぬ美」



◀春期講習 C コース人物水彩
中1女子「休憩中」



▶春期講習 C コース油彩
中3男子「守り神」



◀春期講習 D コース人物水彩
一般女性「紅一点」



▶春期講習 S コースデザイン
高2女子「さくらパラダイス」



大通教室（本部） 〒060-0042
札幌市中央区大通西6丁目6-9 クリーンビル3階
アビターレ・デイサービス水彩画教室／ほっとステーション絵画教室
専修学校クラーク高等学院札幌大通校美術デザイン

<https://ribbonhouse-artschool.jp/>